

平成29年度 学校評価



平成30年3月
甲府市立伊勢小学校

保護者・地域の皆様へ

この1年間、保護者・地域の皆様には、伊勢小学校の教育活動に多大なるご支援・ご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

また、学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。その結果と皆様からのご意見・ご要望等をもとに、来年度に向けての方向性と改善策をまとめてみました。また、それらを受けて、今年度も学校関係者評価を実施し貴重なご意見をいただきました。

これらの評価を今後活かして、一つ一つの学校教育活動に丁寧に取り組み、子どもたちがよりよい学校生活を送れるよう改善と充実をめざしていきたいと思っております。そして、皆様の理解と参画を得ながら、より一層信頼される開かれた学校づくりを進めるとともに、予算や人的配置などの学校では解決できない部分につきましては、甲府市へ支援をお願いしていきたいと考えております。

最後に、学校への協力・激励・感謝の言葉もいただき、ありがとうございました。また、皆様からいただいたご意見・ご要望につきまして、できること、緊急性の高いものから、取り組んでいきたいと考えています。

これからも本校の伝統を大切にするとともに、子どもたちの可能性を一層伸ばしていけるよう、教職員一同努力してまいります。

甲府市立伊勢小学校
校長 井上 由久

項目の取り組み成果・課題・考察	方向性と改善策
<p>◎教育相談</p> <p>保護者、教師とも昨年と同様の肯定的評価を行い、児童は昨年より肯定的評価が増えた。しかし、高学年になるに従い、教師との話しづらさを感じている児童が見られる。朝、児童登校から教室にいて、児童対応を行ってきたが、さらに、親和的な関係が築けるような声かけの必要性を感じる。</p> <p>保護者とは連絡帳や電話等で連絡し、迅速な対応を心がけてきた。</p>	<p>○今年度S O来校日が減ったが、児童ばかりでなく保護者の面接希望も増えているので、調整しながら有意義な面接相談ができるようにする。</p> <p>○来年度から月2回実施される絆の日を有効に活用し、児童とふれあう時間の確保に努める。</p> <p>○保護者と学校の距離が近くなるように関係を深め、日常の電話連絡を中心に家庭訪問や懇談会等の顔を合わせる機会の充実を図る。</p>
<p>●重点目標 あいさつ</p> <p>今年度は、重点目標として学校長以下学校職員、保護者、児童会で取り組んできた。その効果として児童、教師ともに意識も高まり、肯定的な評価が増えた。</p> <p>保護者は昨年同様の評価をしているが、児童のその時々から”元気がない”等の意見も見られた。</p> <p>さらに、”そう思う”という評価が増えるような個々の意識の高まりを目指した取り組みを推進していきたい。</p>	<p>○今年度の取り組みをさらに継続し、あいさつの大切さや具体的な言葉や方法を指導する。また、声かけを継続していく。</p> <p>○児童会の取り組み、学級や縦割り班等いろいろな機会にあいさつ運動を継続して取り組んでいく。(小中連携課題)</p> <p>○あいさつ運動の取り組みの様子をたより等で家庭に知らせ、学校、家庭や地域と連携してあいさつに取り組んでいく。</p>
<p>◎読書活動</p> <p>読書については教師、保護者ともに昨年度と同程度の肯定的な評価をしている。児童も肯定的評価の高まりを示している。</p> <p>ただ、保護者の意見の中に、家庭に帰ってから子どもが読書をしないという意見があり、家庭での読書活動に課題が見られた。”家読”等、親子読書にもさらに取り組んでいく必要がある。</p> <p>読書の価値や意義を児童に伝えながら、これからは読書環境の整備、読書時間の確保等を行っていく。</p>	<p>○”継続は力”の言葉通り、引き続き、図書館主任、司書、委員会を中心に、読書週間の取組、特に家庭での親子読書等を意識し、児童の読書に対する意識を高めていく。</p> <p>○朝の読書の時間のボランティアや教職員による読み聞かせ、児童の発達段階に応じた本の紹介を行うことにより、読書の幅や質的向上を図る。</p>
<p>◎学校生活</p> <p>教師は昨年同様、全員が肯定的な評価をしている。また、わずかだが児童も肯定的な評価が増えた。しかし、保護者からは少々肯定的な評価が下がっている。保護者が日々家庭で児童と接している中で、心配していることがうかがえる。</p> <p>学校では、生活の中でのいろいろな場面で、友達、教師、学習、給食等多くの”楽しさ”を感じ取れていなかったか振り返って考えていきたい。</p>	<p>○児童観察に心がけ、気になったときは積極的に言葉かけを行う。</p> <p>○家庭との連絡を密にし、児童の状況を共有する。</p> <p>○教師・保護者ともに共通理解のもと、気になることについて対応していく。</p> <p>○連絡帳や電話等で連絡を取りあい、迅速かつ適切な対応を行う。</p> <p>○学校生活全般で、楽しさを中心にメリハリのある学級経営、学年経営等に取り組んでいく。</p>

項目の取り組み成果・課題・考察	方向性と改善策
<p>◎学習意欲 教師の評価は昨年同様である。学習について、校内研究をはじめ、各教科、学年や担任がいろいろ工夫して取り組んできた。その成果として保護者からは肯定的な評価が増えた。</p> <p>しかし、児童は逆に肯定的な評価がやや下がった。また、学年により差が見られ、学習内容によっても、意欲がそがれることもあるようだ。どんな学習でも、児童が”楽しい、やってみたい”等、思えるような児童の実態把握や学習計画の見直しを検討していく必要がある。</p>	<p>○児童の実態を把握するために、意識調査などを行い、児童の意欲向上のための授業改善に努める。</p> <p>○学習指導要領改訂にともない、教材研究を深めたり、研修会に積極的に参加したりしながら、学習への意欲、深まりが意識できるような授業を目指す。</p>
<p>●重点目標 学習指導 この項目は重点目標であり、教師の重要な役割の一つである。</p> <p>教師は全員が肯定的な評価を行い、保護者の評価は昨年に比べやや上がった。児童の学習活動が評価されたものと思われる。しかし、児童は評価を落とし、学習内容の難しさ等、よりわかる授業の取り組みが喫緊の課題であると思う。</p>	<p>○ユニバーサルデザインの考えに基づいた学習過程にのっとり、「見通し」「振り返り」を意識した授業を実践する。</p> <p>○授業では、基礎的基本的な学習内容の定着も図れるような教材・教具の工夫を行う。</p> <p>○児童一人一人の学習状況について、より丁寧で確かな理解（評価）ができるようノ取り組む。</p>
<p>◎学習習慣 家庭学習については、県教委、市教委、本校の家庭学習の手引きをもとに各学年で取り組んできた。教師は昨年同様の肯定的な評価を行い、児童はやや肯定的な評価を伸ばし、保護者は昨年度より肯定的な評価が増えた。</p> <p>ただ学習習慣の定着にはまだ課題があると考えている保護者もいる。量的、質的な内容についてもこれから検討していきたい。</p>	<p>○校内研究会で家庭学習は、発達段階に応じての取り組み方や内容が検討されている。さらに、家庭学習の充実を図るために、保護者からも協力を得て取り組んでいく。</p> <p>○家庭学習の手引きを活用し、学年だより等で知らせる。</p> <p>○これからも継続的に取り組むことにより、習慣化してしていく。</p>
<p>●重点目標 心の教育 教師、児童ともに昨年と同程度の肯定的評価をしている。保護者はわずかに評価を下げた。</p> <p>思いやりや命についての指導は、日々の学校生活で児童に機会あるごとに投げかけ、指導してきた。個々の心に迫る内容であり、今後は、特別の教科としての道徳の指導を教材研究を深めながら、児童にわかりやすく、また、個々の問題として考えさせながら重点的に取り組んでいく。</p>	<p>○日々の児童の活動から、課題となる点を適時適切に取り上げ、道徳の授業や学級活動、帰りの会など、機会あるごとに伝えたり、考えさせたりする。</p> <p>○道徳では計画的に授業を行い、学習後は学習の記録等を行い、振り返りを行い道徳性を高める。</p> <p>○「いじめ」については、未然防止や早期発見・早期対応等に積極的、組織的に対応する。</p>

項目の取り組み成果・課題・考察	方向性と改善策
<p>◎健康食育</p> <p>教師は昨年同様の評価を行い、児童はやや肯定的な評価を上げたが、保護者は児童を見て多少の不安があるのかやや評価を下げた。</p> <p>体力の向上では、外遊びの励行や体育の充実、なわなわとびを使って体力づくりを行った。</p> <p>食育や健康に関しては、給食主任や学校栄養職員、養護教諭を中心に取り組み、保健や給食のたよりをもとに児童の食育や健康についての意識を高めるとともに、各家庭への啓発を図った。</p>	<p>○食育・健康についての学習を、学校栄養職員・養護教諭と連携して行う。</p> <p>○給食主任と養護教諭を中心として、食育・健康に関する放送や掲示を委員会活動と連携して取り組む。</p> <p>○学級担任は、「給食だより」や「保健だより」を活用し、児童の食育や健康についての意識を高める。</p> <p>○児童の体力向上を目指し、体育の授業の一層の充実に努める。また、体力づくりの取り組みも継続して行っていく。</p>
<p>◎生徒指導</p> <p>教師、保護者ともに昨年と同様な肯定的な評価になったが、児童全体では昨年に比べやや評価を下げた。特にきまりや約束を守ることにについて、高学年の児童が厳しい評価をしている。</p> <p>学級等で行動やきまりについて、機会あるごとに指導し、効果はできていると思う。児童や保護者の不安に思っていること、まだ十分でないと思っていることを機会あるごとに収集し、これからも徹底していく必要がある。</p>	<p>○生徒指導は、迅速に対応することが肝心である。日々の生活の中で、気づいたことを問をおかず、指導していく。</p> <p>○これからも約束、きまりについてはなぜ必要かを考えさせながら、発達段階に沿いながら指導を徹底していく。</p> <p>○多くの機会に保護者や地域の方々より情報をいただき、学校での取り組みを行っていく。</p>
<p>●重点目標 安全</p> <p>教師、保護者は昨年同様の肯定的な評価が得られた。児童も肯定的な意見がやや上がったが、高学年になるほど安全の意識が高まり、厳しい評価している。命に関わる問題でもあり、さらに高い評価を目指す。</p> <p>今年度、本校で交通事故等の安全に関する報告は1件もなく、その点では評価できる。しかし、下校時等の不安は感じているので、これからも指導していく。</p> <p>学校内については月に1度の安全点検を行い、修繕箇所等にはすぐに対応し、安全が保たれている。</p>	<p>○児童の安全への意識が高まるように、各学級において帰りの会等で機会あるごとに指導をしていく。</p> <p>○避難訓練や不審者訓練の際に、ねらいや意義について児童が理解できるように、指導していく。</p> <p>○予告なし等の訓練を実施するなどして、教師、児童個々の実践力を高める。</p> <p>○安全に関する具体的な対応例を考えさせるような投げかけを行い、自分の身を守る手立てを考え、学べるようにする。</p>
<p>◎開かれた学校</p> <p>情報発信等、教師は昨年同様の肯定的な評価を行い、保護者はやや評価を上げた。</p> <p>学校では行事等を通して、様子を伝えるとともに、日々の出来事等は連絡帳や電話等で連絡し、迅速な対応を行うように心がけた。</p>	<p>○学校の教育活動等をより理解し、協力してもらうために、保護者の期待に応えられるような行事を計画実施していく。</p> <p>○これからもホームページ、学校だより、学年だより等で学校の様子を知らせていく。</p>